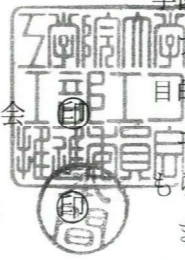


2023年度 工学院大学 エコ推進委員会 方針

工学院大学エコ推進委員会

委員長 本間 大輝



学園祭及び体育祭でのエコステーションの設置

プレ八王子祭・八王子祭・体育祭・新宿祭でのゴミの一挙分別回収を行うことで、学生や来場者の分別意識向上を目的としている。

エコ推進委員会はゴミの具体的な分別方法と呼び掛け、実際の分別はゴミを捨てに来た学生や来場者に直接行ってもらう。回収したゴミの総量は委員会広報誌に掲載をし、学生に対して周知を行う。

また、模擬店で参加をする団体に対してゴミの分別・削減と呼び掛けることで排出されるごみの総量を削減し、よりエコな学園祭・体育祭を目指す。

1. 2023年度活動目標

エコ推進委員会は学生に環境問題について、興味・関心を持ってもらい、意識を高めてもらうことを目的として活動を行っている学生団体である。委員会が環境問題を処理するのではなく、その問題提起と解決をするための方策を提示し、学生自身が改善を行うことで意識の向上を図る。

活動は委員会独自プロジェクトである、「KU-SEM Project (KOGAKUIN University Student Environmental Management)」を中心とし、環境マネジメントシステムの継続的改善サイクル (PDCA サイクル) に基づき、年間を通して活動する。

他団体との連携も強化し、学生団体に対しては特にエコ推進委員会の活動を理解した上で、環境活動に意識をもってもらえるようにする。

エコ推進委員会の活動スローガンは以下の通りである。

「委員会が問題解決の方策を提示し、実際の問題解決は全学生で行う。」

2023年度は、環境活動を行う外部団体との交流を増やし、活動に関する知見を深め、新たな活動の模索を行うと同時に、より多くの学生に対して活動にかかわってもらえるように工夫をする。

2. 活動方針

①エコキャッププロジェクト

学内に設置されているゴミ箱の横にペットボトルキャップ回収用ボックスを設置し、ペットボトルの分別回収を行う。学生自らが分別を行うことで分別意識を持ってもらうことを目的としている。分別されたキャップはエコ推進委員会が回収を行い、リサイクル材料として企業へ引き渡しを行う。リサイクル材料として発生した資金は発展途上国の子供たちを救うワクチンに利用する取り組みへと送っている。

②委員会広報誌「Let's GO エコ通信」の発行

学内向けにエコ推進委員会の活動報告やイベントの告知などを行い、エコ推進委員会の取り組みを幅広く周知することと、環境に対する関心を高めることを目的としている。内容は、クリーンアップキャンペーンやエコキャッププロジェクト等の結果や、環境イベントについての掲載を学期毎に行い、写真や図などを用い、レイアウトを工夫することで、より分かりやすい記事を目指す。

③環境強化月間

環境に関するテーマを毎月提案し、省エネルギーやゴミ排出抑制、その他環境問題についてより意識してもらうことを目的としている。分かりやすいテーマや気軽に取り組めるテーマなどを中心として活動を促すポスターの制作を行う。ポスターだけでなく、多様な掲示方法を模索することで、より多くの学生に見てもらえるようにする。

学外活動

エコ推進委員会自身の環境問題に対する知識や活動のアイデアをより深いものにするを目的としている。外部の環境に関する活動を行っているサークルやNPO法人の活動にエコ推進委員会として参加をし、通常の活動では得られない体験を行うことで、活動に対する新たな視点の発見を図る。

工学院エヴォリューションプロジェクト (KEP)

「工学院大学を自分たちの手で改善し、工学院の学生であることに自信と誇りを持ちたい。」という理念の下で生まれたプロジェクトであり、クリーンアップキャンペーンや、地域清掃などを常任委員会と共に行っていく。

(a) クリーンアップキャンペーン

エヴォリューションプロジェクトとして、学生参加型の学内清掃を実施する。実際に学生に清掃活動を行ってもらうことにより、美化意識の向上とマナーアップを図る。広報活動の強化を図ることで、学生の参加人数の向上を狙い、活動の拡大を目指す。

(b) 学外清掃

エヴォリューションプロジェクトとして、地域住民を招いた学外清掃を実施する。美化意識の向上、マナーアップ、地域貢献を目的としている。地域住民と協力して工学院大学八王子キャンパス周辺の清掃活動を行うことで、学生と地域の交流を図る。

これらの活動は感染症対策をしっかりと、状況に応じて適切な対応をとる。

以上の項目の中で、昨年感染症により実行できなかった方針を再開する。昨年度の反省を生かし委員会の統制をとるために各項目における理念等を全委員の共通認識にできるよう努める。